

第11回新嵐山スカイパーク経営改革

調査特別委員会会議記録

開閉会 日時	令和6年1月31日（水曜）		10時15分 開会	
	休憩 11:11-11:25 11:44-11:45		12:09-12:11 12:22-12:23	
			12時31分 閉会	
	休憩時間：0時18分		会議時間：1時間58分	
会議場所	役場3階本会議場			
出席委員 氏名	委員長 鈴木 健充	委員 立川 美穂	委員 木村 淳彦	
	副委員長 正村紀美子	委員 渡辺洋一郎	委員 伊藤 稔	
	委員 西尾 一則	委員 堀切 忠	委員 菊池 秀明	
	委員 常通 直人	委員 橋本 和仁		
	委員 中村 和宏	委員 中田智恵子		
	委員 早苗 豊	委員 小笠原 等	議長 梶澤 幸治	
欠席委員 氏名				
説明等に 出席した 者の氏名	魅力創造課参事 中村宗紀	魅力発信係主査 藤村勇貴		
	魅力創造課長 西田昌樹	政策推進課長 石田 哲		
	同課長補佐 渡邊浩二	政策調整係長 大石秀人		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 上田瑞紀	
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開会				
・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議件				
(1) 調査事項				
ア 新嵐山スカイパークの今後について 資料1				
・魅力創造課参事：資料説明（「1：令和5年度の運営について」「2：令和6年度の運営について」「3：経営方針変更の手順とスケジュールについて」）				
・委員長：資料の項目ごとに調査する。「1：令和5年度の運営について」、意見・質疑はないか？				
・菊池委員：(2)の部分について、費用は発生しないでリフトを継続使用できるのか？				
・魅力創造課参事：点検を行うので全く費用がかからない訳ではないが、新たに取 り直すよりは費用はかからない。				
・常通委員：(3) 町民利用に支障をきたさないとはどういう意味合いなのか？				
・魅力創造課参事：元々めむろ新嵐山（株）が管理している場所ではなく林道の部 分になり、歩くスキーの会の方が調整をしている場所。				
・常通委員：歩くスキーの会の人たちの駐車場利用はどのように把握しているのか？				

- ・魅力創造課参事：第3駐車場の一部分及び林道までの通路部分に車を停めて利用。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：次に「2：令和6年度の運営について」、意見・質疑はないか？
- ・立川委員：(2) スキー場の部分。リフトの更新も計画の中に含まれるのか？
- ・魅力創造課参事：早期再開に向けて点検をした上で、更新はグランドデザイン以降基本設計も含めた段階で検討する。
- ・正村委員：リフトは何本運行する予定か？
- ・魅力創造課参事：全てのリフトを点検し、どの範囲にするかは点検の状況をみながら検討する。
- ・正村委員：今まで自然降雪があってもなくても12月にオープンしてきたが、オープンの仕方は検討しているのか？
- ・魅力創造課参事：オープンの時期は、他の自治体の状況も参考に検討する。
- ・正村委員：近隣市町村を参考に慎重に進めていただきたい。リフト料金設定の考え方は？
- ・魅力創造課参事：令和6年度は早期再開に向けて現状の料金を維持しつつ、今後検討する。
- ・木村委員：索道の方は今の方を継続して採用する予定なのか？
- ・魅力創造課参事：スキー場運営の担い手で採用いただくことも想定。
- ・木村委員：今の方を継続して採用する理解で良いか？建物の管理も継続して行うのか？
- ・魅力創造課参事：リフトも町の施設なので、その方にやっていただきながら町の責任で管理する。
- ・木村委員：施設について町の大枠の考え方は？
- ・魅力創造課参事：現在検討段階で具体的に示せる段階ではないが、町の条例に記載の機能やこれまで会社がサービスとして提供していたものも合わせて検討を進める。
- ・木村委員：スキー場は早期にグランドデザインを描く段階で、十勝のスキー場として考えていくのか？
- ・魅力創造課参事：未来ミーティング等でのさまざまな意見を基本にあり方をグランドデザインで定めていきたい。
- ・常通委員：設置条例の見直しを検討するのか？条例に沿ってグランドデザインを描くのか？
- ・魅力創造課参事：配置・規模含めグランドデザインを描きながら、条例についても必要があれば見直す。
- ・常通委員：現在の条例に縛られなくて良いという理解か？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。
- ・常通委員：名称を含めすべて白紙の状態を検討し、それを積み上げた中で改めて条例を検討するという理解で良いか？

- ・魅力創造課参事：ホットボイス、未来ミーティングでの意見やアンケートの要望も含めて検討。
- ・中村委員：公園機能の一部開放とはどの部分なのか？
- ・魅力創造課参事：宿舎周辺の一部開放と考えている。
- ・中村委員：児童生徒の冬季以外の野外学習が可能にしてほしい。
- ・魅力創造課参事：できるだけ早期に一部開放区域を示して、情報提供していきたい。
- ・立川委員：トイレの開放や管理する方も雇用するのか？
- ・魅力創造課参事：既存の施設のトイレを開放するので、それに伴う消耗品費等は提案させていただく。
- ・堀切委員：パークゴルフ場やドッグランの利用は想定しているのか？
- ・魅力創造課参事：現時点では全てを開放するのは難しいと考えている。
- ・堀切委員：具体的に町が考える公園機能とは？
- ・魅力創造課参事：部分的な開放で自然環境を楽しんでいただくイメージ。
- ・菊池委員：リフト点検委託について、いつまでに具体的な数字が出てくるのか？
- ・魅力創造課参事：点検費用だけで約170万円かかり、点検により大小修繕が出てくるので、現時点で積算まで行っていない。
- ・渡辺委員：メーカーの点検はいつ行うのか？
- ・魅力創造課参事：5月に契約し、点検に約3か月程度必要となる。
- ・渡辺委員：休憩スペースやトイレも開いていく必要があると思うが、どのように想定しているのか？
- ・魅力創造課参事：使用できるのはヤスマットやフォレストハウスになるかと思うが、凍結防止の作業が必要となり、トイレが不足するのであれば簡易トイレも補正提案させていただく。
- ・早苗委員：宿舎・ロッジは利用しない形で開放するのか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。
- ・早苗委員：パトロール業務やスキースクール、飲食はどこまで想定しているのか？
- ・魅力創造課参事：現時点でどういう手法が可能かどうか今後検討する。
- ・早苗委員：町民がどこまで期待しているのか理解すべきである。ある程度早期な段階で方針を示すべきと思うが、どのようなスケジュールなのか？
- ・魅力創造課参事：9月目途に示したい。
- ・早苗委員：トイレはどのような利用形態を想定しているのか？
- ・魅力創造課参事：住宅街にある公園のような形で最低限の維持管理。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：次に「3：経営方針変更の手順とスケジュールについて」のうち、「(1)新嵐山スカイパークの再生に向けたスケジュール(令和6年1月現在)」について、意見・質疑はないか？
- ・西尾委員：ゼロベースで考えるということだが、温暖化で雪が少ない中で、スキ

一場をやるのか？

- ・魅力創造課参事：町民から意見を聴取するのがゼロベースであり、それを総合してどの機能が必要かあり方の骨格を固めてグランドデザインを定めていく。
- ・西尾委員：スキー場は再開するのかわからないという理解で良いか？
- ・魅力創造課参事：投資は慎重にやらなければならない、リフトが使えるのか使えないのか点検をした上で可否を判断する。
- ・西尾委員：予算提案する上で、もっと町が考え方を示すべきでは？
- ・魅力創造課参事：あり方の骨格案を固めて、町民に説明させていただき、グランドデザインに進めて行き予算提案させていただく。
- ・小笠原委員：国立公園化との絡みで新嵐山を活用できないのか？
- ・魅力創造課参事：エリア外ではあるが、玄関口になるので補助金等活用できるよう検討している。
- ・小笠原委員：道の駅をつくるなどしてグランドデザインを策定しては？
- ・魅力創造課参事：そういった御意見もいただいており、可能かどうかグランドデザインの中で検討する。
- ・正村委員：あり方の骨格の考え方は？
- ・魅力創造課参事：機能として必要なものを確定させる。
- ・正村委員：事業費でない部分の判断基準は？
- ・魅力創造課参事：自分ごと化会議の提言やこれまでの利用状況を含めって検討する。
- ・木村委員：グランドデザインの委託を出す前に、町として最低限公園とスキー場を残す考えが必要なのでは？
- ・魅力創造課参事：町としてグランドデザインを策定する。
- ・木村委員：条例を鑑みながら、最低限スキー場や公園機能を残した中でのグランドデザインになるかと思うが、スケジュール管理も含めて検討していくのか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。
- ・常通委員：令和6年度も月を入れた資料を作成した方がわかりやすいのでは？
- ・魅力創造課参事：今1月現在のものなので、可能なのは示していきたい。
- ・渡辺委員：報告書はいつぐらいの時期を考えているのか？
- ・魅力創造課参事：年度内を想定。
- ・渡辺委員：成果品が戻ってくるのはいつ頃か？
- ・魅力創造課参事：年度末を想定。
- ・渡辺委員：成果品が年度末に出され、それと合わせて町としてグランドデザインを策定して、年度末にグランドデザインができるという理解で良いか？
- ・魅力創造課参事：成果品を受け取る前に協議しながら固めていくイメージ。
- ・渡辺委員：イメージとしては、例えば成果品が12月までに届いて、それを踏まえて町としてグランドデザインを最終決定していくようなイメージを持っていたが、協議しながらになるのか？
- ・魅力創造課参事：協議しながら固めていく。

- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・委員長：「（１）新嵐山スカイパークの再生に向けたスケジュール（令和６年１月現在）」についての質疑を終える。次に「（２）グランドデザイン策定までの進め方」について、意見・質疑はないか？
- ・早苗委員：展望台やそこに繋がる林道の扱いはどのように進めていくのか？
- ・魅力創造課参事：未来ミーティング等で展望台は観光資源として活用する提案もあり、林道は農林課所管でそれぞれ目的があり、グランドデザインでどこまで描けるかはわからないが、今後検討していきたい。
- ・正村委員：３月上旬に骨格を策定するのは、観光ビジョンが定められていない中で違和感を感じる。
- ・魅力創造課参事：観光ビジョンは総合計画に基づいた町の観光施策の方針を定めるものであり、新嵐山スカイパークの利活用を定めるものではない。
- ・中田委員：今後金銭的なものは示さないで決まっていくのか？
- ・魅力創造課参事：グランドデザイン策定を進める中で事業規模や、配置、事業費も含めて実現が難しいものもあり、スキー場だから必ずやるということではなく、継続の可否も含めて今後検討して行きたい。
- ・中田委員：嵐山の事業は数字の根拠がなく進んでいくのか？
- ・魅力創造課参事：グランドデザインの中で事業費が出て、補助金等さまざまな手法で財源を確保し、一般財源がどれくらいの負担になり、グランドデザインが実現可能かも含めてお示ししたい。
- ・中田委員：他の自治体ではスキー場を閉鎖してきている状況があるが、町としてどのような所見を持っているのか？
- ・魅力創造課参事：さまざまな事例も参考に町の負担の少ないよう考えていく。
- ・木村委員：グランドデザインはこういうものがあったら良いというイメージで良いか？
- ・魅力創造課参事：グランドデザインはスカイパークのエリア活用を示したもの。
- ・木村委員：財政的な負担があり、夢物語ではないということで良かったか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり・
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・委員長：「（２）グランドデザイン策定までの進め方」についての質疑を終える。次に「（３）今後のスケジュール」について、意見・質疑はないか？
- ・立川委員：自分ごと化会議に関わってきた方に何らかのケアをしたのか？
- ・魅力創造課参事：ワークショップに参加した際に自分ごと化会議に参加された方に個別に案内。広報誌等で継続して発信していきたい。
- ・常通委員：あり方の骨格を確定するにあたり、議会とのやり取りはどのように考えているのか？

- ・魅力創造課参事：3月上旬にあり方の骨格を確定するので、特別委員会の調査の内容を踏まえて確定させていく。
- ・正村委員：当初予算計上の考え方は？
- ・魅力創造課参事：2頁のスケジュールも念頭に令和6年度当初予算提案させていただきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：「(3) 今後のスケジュール」についての質疑を終える。
- ・委員長：これまでの質疑を踏まえて「資料1」全体で意見・質疑はないか？
- ・正村委員：本日の臨時会議の中で行政報告があり、破産手続の終わりが見えない中で、以前の特別委員会で2月中に検証を行うという答弁があったが、検証と町民のための嵐山の2点について伺う。
- ・魅力創造課参事：4月に債権者集会であり、最終決算報告書が提出されればそれを見て検証作業になる。町民のための嵐山に関しては、これからあり方の骨格やランドデザイン策定に町民参加をいただき、嵐山を観光拠点として総合計画に基づき盛り込んで行く。
- ・正村委員：4月25日の最終報告は、新しい嵐山のスケジュールにどのように反映されるのか？
- ・魅力創造課参事：検証については、最終決算報告書がいつ出てくるかによって検証時期が変わる。民間活用や他の自治体の事例を参考しながら検討する。
- ・渡辺委員：町内の若い世代の方のイベントをやりたい等の動きに対し、町としてどのように対応していくのか？
- ・魅力創造課参事：町としては可能な範囲で対応する。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：以上で調査事項「ア：新嵐山スカイパークの今後について」の調査を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。「1：令和5年度の運営について」、意見はないか？
- ・(なし)
- ・委員長：次に「2：令和6年度の運営について」、意見はないか？
- ・正村委員：あり方の骨格のランドデザインは町民の声を聞いて策定するのは良いが、事業費が出ていない中で、令和7年度以降どうしていくのかは議会としてもしっかり見ていかなければならない。今後、具体的な事業費を含めた調査を進めていくべき。
- ・委員長：他にないか？
- ・(なし)

- ・委員長：次に「3：経営方針変更の手順とスケジュールについて」、意見はないか？
- ・常通委員：委員会としてスキー場はある程度方向性を出した方が良いのか否か。
- ・委員長：視察毎に報告書をまとめ議員間討議を行う。
- ・委員長：他にないか？
- ・(なし)
- ・委員長：最後に全体を通して意見はないか？
- ・委員長：他にないか？
- ・(なし)
- ・委員長：以上で、自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：正副一任
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
なぜ2月に視察があるのかを念頭に有意義な視察にしていきたい。
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和6年1月31日

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会
委員長 鈴木 健 充